

- 無形民俗文化財をご覧ください P1～2
- いわた東海道見て歩き P3
- WEBで文化財だよりを楽しもう! P4
- コラム『遠州の秋葉山常夜灯』竹内直文 P4

パソコン、タブレット、スマートフォンなどで！

無形民俗文化財をご覧ください

無形民俗文化財とは、衣食住や年中行事などに関する風習や民俗芸能、生活文化の特色を示しているもので、伝承する人々の努力によって続けられています。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策による、規模の縮小や、開催の見送りなどにより、現地で見られない無形民俗文化財が多くありました。

文化財課では、民俗文化財の映像記録事業を進めており、市のホームページやQRコードからは3分程度の映像をご覧ください(※)。また、より詳しい内容・映像を納めたDVDは市内の図書館で貸出しています。ぜひ、ご利用ください。(DVDの販売はしておりません。)

(※)YouTube内にある磐田市公式チャンネルの該当民俗文化財ページとリンクしています

1 ページ目と 2 ページ目の QR コードを読み取ると映像が見れるよ！



©磐田市



無形民俗文化財の DVD



見付天神裸祭

見付天神裸祭 (国指定)

毎年旧暦の8月10日直前の土曜・日曜におこなわれます。矢奈比売神社(見付天神)の祭神が、遠江の総社(※)である淡海国玉神社へ渡御する神事を中心とする祭です。神事の御渡に先立ち、サラシと腰蓑を身に付けた裸姿の男達が乱舞することから「裸祭」と呼ばれています。



(※)地域内にある神社の祭神を一か所に集め祀った神社

掛塚祭屋台囃子 (県指定)

毎年10月、貴船神社の祭典で引き廻す屋台の中で演奏されます。御公家囃子、入囃子など8種類あります。

お囃子は、南北朝時代、後醍醐天皇の皇子・宗良親王が遠江に下向した際、貴船神社の祭りに出会い、この時随行していた中御門中納言某に伝授されたのが始まりと伝えられています。



掛塚祭屋台囃子

八王子神社米とぎまつり (市指定)

毎年1月の第2日曜に下太の八王子神社でおこなわれる祭事です。ふんどし姿で、モチ米の入ったザルなどをついで今ノ浦川に向かい、小舟に乗り川の水で米をとぎます。この米でオコワ飯を炊き、神前にそなえた後、地区の皆で食べ1年の無病息災を祈ります。



米とぎまつり

池田やかた祭り (市指定)

毎年8月の第1日曜に池田地区でおこなわれる祭りで、川供養・厄流し・病難防除を祈る祭りだといわれています。わらや竹などで組んだ「やかた」に、願いごとを書いたホオズキ提燈ちようちんを飾り、天竜川まで担ぎ入れ、そこで火を放ち川に流します。



池田やかた祭り

賀茂神社特殊神饌 (市指定)

毎年10月におこなわれる秋祭りの神饌しんせん(神前に供える飲食物)とその作り方が文化財に指定されています。京都の神社に伝わる古い様式を残しており、里芋こうじなど8品を並べた献供代3膳とハナゴモリとよばれる糍、御神酒をお供えします。



賀茂神社特殊神饌

加茂大念仏 (市指定)・豊岡の遠州大念仏 (市指定)



加茂大念仏

毎年8月のお盆、初盆の家々を回り、亡き人の霊を慰めるために、笛や太鼓などの音に合わせ念仏を唱えながら踊りを踊る民俗行事で、遠州地方では「遠州大念仏」と呼ばれています。市内では豊田地区の加茂東と豊岡地区の大平、大楽地、合代島、壱貫地、上神増、三家、松之木嶋の合わせで8組でおこなわれています。



豊岡地区の大念仏



加茂



壱貫地



大平



上神増



合代島



大楽地



松之木嶋



三家

令和2年度は磐田市指定無形民俗文化財「氏神様の年始回り」の映像撮影をおこないました。近日中に公開出来るようになりますので、ご期待ください。

出来上がった際には、文化財だよりでもお知らせします！



文化財課刊行物紹介

いわた東海道見て歩き



このたび『いわた東海道見て歩き』をリニューアルしました！
『いわた東海道見て歩き』は、西島から池田までの東海道周辺のみどころを、写真を交えわかりやすく紹介している無料パンフレットです。ぜひお手にとってご覧ください。

配架場所

- ・磐田市埋蔵文化財センター（土曜・日曜・祝日休館）
磐田市見付 3678-1 8:30～17:15
- ・旧見付学校（月曜休館）磐田市見付 2452 9:00～16:30
- ・旧赤松家記念館（月曜休館）
磐田市見付 3884-10 9:00～16:30
- ※磐田市観光案内所（磐田駅前）、磐田市情報館（ららぽーと磐田内）、市政情報コーナー（磐田市役所本庁2階）は順次配架します

パンフレットサイズを大きくし、より見やすく、充実した内容に！

リニューアルした点を紹介します



① 西島から池田までを一面で！

パンフレットのサイズを大きくしたことで、西島から池田までの東海道の道筋を見開きで見られるようにしたほか、文字も大きくし、イラストや写真を交えた地図にしました。また、池田周辺の詳細な地図も追加しました。

② 見どころ、文化財の紹介を増やしました！

地図上に見どころ、文化財のある場所を記号で示し、裏面でその紹介をしています。また、見付や中泉の歴史、池田の渡しについても紹介しています。

③ 実際に歩いて測って！？

西島から池田まで徒歩での所要時間の目安をいれました。道沿いの見どころスポットへ立寄った場合の所要時間もありますので、ぜひパンフレット片手に「見て歩き」してください。



磐田市ホームページで公開中

WEBで文化財だよりを楽しもう！

パソコンやタブレット、スマートフォンなどから閲覧できます！



ご自宅でいわた文化財だよりを楽しんでみませんか。市ホームページでは、最新号のほかバックナンバーも公開しています。バックナンバーの閲覧方法と、これまでに発行した文化財だよりの中から今月のお勧めをご紹介します！

● 閲覧方法 ●

磐田市ホームページトップページ内のページ番号検索に1007901を入力後、いわた文化財だよりのバックナンバーの一覧から閲覧したい号数をダブルクリックしてください。

● 今月のお勧め ●

毎年4月下旬から5月初旬にかけて、美しく咲くフジの花。中でも行興寺にある熊野の長フジの一部は、国と県の指定文化財になっています。

長フジの樹勢を保つための取り組みを、134・137・144号の3回にわたって紹介しています。



職員リレーコラム

遠州の秋葉山常夜灯

竹内 直文

長年お世話になった先生に献呈する論文集に参加しないかとお誘いをいただいて、遠州地方の秋葉山常夜灯（秋葉灯籠、竜灯とも）で書くことにしました。

秋葉山常夜灯は火伏の信仰を表したモニュメントですが、以前から見て回っていたので、自分ではわかったつもりでいました。しかし、いざ原稿にしてみようとすると勘違いや新たな発見があり、苦勞もしましたがいい機会だったと思っています。

遠州は秋葉山のおひざ元であり、約1,080基と非常に多くの常夜灯がありましたが、最も大きな特徴は北遠にはほとんどないこと、天竜川を境にして東側の磐田市、掛川市、牧之原市などでは自由奔放なデザインを採用することです。

今後ライフワークとして研究を重ねていこうと思っています。



形がわかるものでは市内最古の秋葉山常夜灯
上野部・神田（安永9年[1780]）

編集後記 『いわた東海道見て歩き』がこの度リニューアルしました！散策するにも気候が良いこの季節、新しくなったパンフレットを片手に東海道を歩いてみませんか？

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699
◆WEB版は市HPから閲覧できます。 **磐田 文化財だより** **検索**

